

奈良・人と自然の会

7月例会 黒髪山キャンプフィールド クラフト講座に参加して

甲斐野 幸一

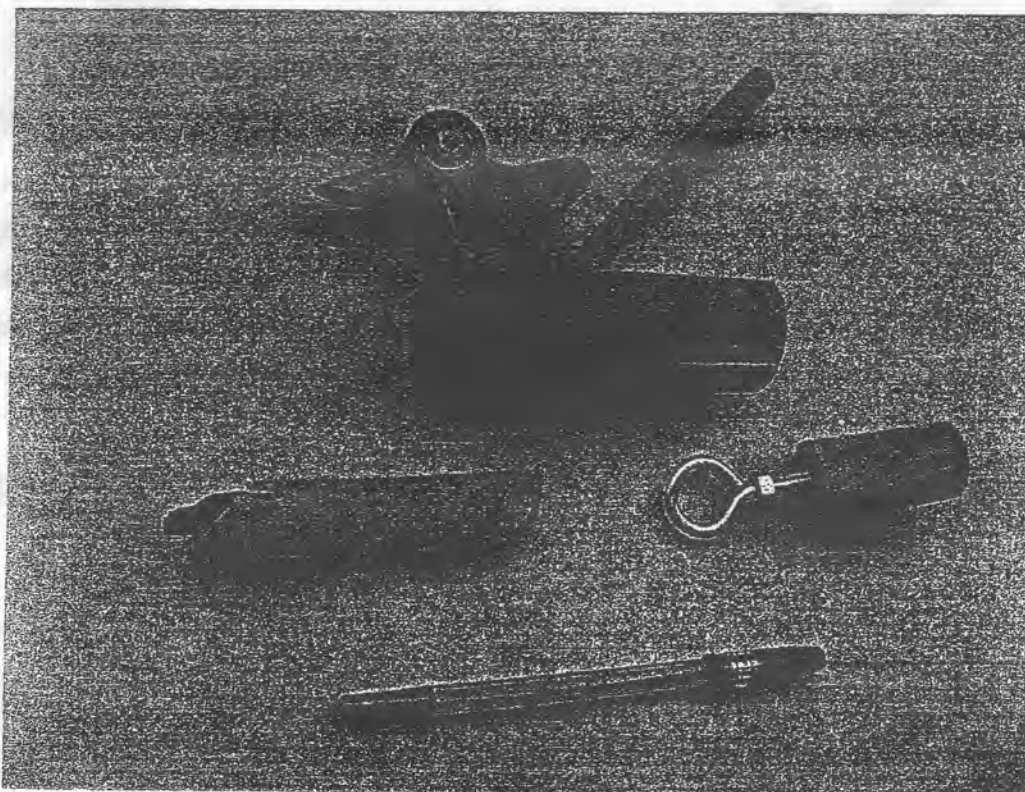
7/17 ジージー蝉の声に誘われて、緑豊かな森、黒髪山へ到着。陽射しはきついものの本日の講座は木陰の風通りの良い場所で開催、参加6名の皆さん“ほっとした”の顔。

10時過ぎから、樋口さん境さんより「クラフトの製作」説明を受け、まずは竹鳥笛の製作開始、見本を横目に吹き口と鳴胴の角度が中々見つからず苦労しました。微かにピー音が鳴りすばやく瞬間接着剤の塗りをお隣さんに頼みやっと1個完成！次は簡単な呼び笛に取り掛かりますが、単純な構造なのにこれがまた鳴りません。舌葉(笹の葉を利用)の場所を4、5回換えてペブーブーペ〜の音が出て、まずまず良しとしました。(30分以上吹いても吹いても鳴らず、とうとう酸欠で頭がボーとして来ます/要注意ですよ)

最後のバードコールは、細い木枝にキャンプ場より借用の電動ボール盤でドリリングし、ボルトを何回か入れ出し、チイーチイーと鳴るところを探せば完成！！以上3点が完了しました。

この間、つたない鳥笛を皆さん吹いていますと、ウグイスが「へたやな〜何処の誰が鳴ってるねん、、、」と言わんばかりに、すぐ近くでホーホケキョの美声を盛んに披露してくれまして、しばし聞き惚れました。我々の作品では「到底鳴けまへん！！」と大笑い。

本日は25日のボーイスカウト研修の準備もするとの事で、木のネームプレート60枚に穴あけを行い完成。クラフト材料の準備等、樋口さん境さん有難う御座いました。



東海自然歩道“滝阪の道”に参加して

福谷 れい子

7月22日(木)この日も連日の猛暑を引き継いで暑くなりそうな気配。

破石までバスで行き、少し歩いて日陰でストレッチと注意事項を聞く。今日は“ヒル”。ナメクジの様にのんびりした動物だと思っていたら、なんと人や動物の気配を感じたら木の上から落ちてきたり、落ち葉の下から瞬時にして靴に取り付き数秒で靴下内に入り込むとのこと。すでに下見時に吸血された先輩がおられ、話を聞く皆さんも真剣な顔。

歩き始めてすぐにママコノシリヌグイを教えていただく。コンペイトウの様なピンクのかわいい花なのはどうして？と思っていたら、茎をさわってごらんといわれ、そこにチクチクしたトゲがびっしりあるのにびっくり。その命名に感心すると共に複雑な気持ちになる。

いよいよ山道にさしかかる時に、寺田さんが用意して下さったヒル除けの薬を靴や裾にふりかけるやら、タオルをしっかり首に巻きつけるやら準備万端。気合を入れて登りはじめる。道中、ヒルもいたし、50cm 程のヤマカガシにも出会ったけれど、お蔭様で16名全員、無事危険地帯を通過することができた。万歳！！

峠の茶屋へ着き、ホッとする間も無く“今日の手記、お願いします”といわれ、奈落の底へ落ちた感じで昼食は上の空だった。草もちをいただき、やっと気を取り直す。お茶屋は平日なのに満員でおじさんは一人でてんでこ舞い。猫は大勢いたのに、おねだりに一生懸命でどれも手伝ってはいなかった！？

帰り道、間伐の現場へ寄り、思いもかけず、ヒノキ一本切らせていただく。のこぎりの持ち方から、最後まで水平に切るのかと思っていたら、半分位から斜めに三角に切ること等教えていただく。初めての経験で感激。この道は昭和のはじめまでお米や炭を運んでいたとのことで、登りも下りも緩やかで、ほとんどが日陰だった。沖縄の珍しい話を聞かせていただいているうちに円成寺に着く。

前回は気持ち悪い程の大きな真っ黒のカエルを見たけれど、今回は黒豆程のかわいいヒキガエルやルリセンチコガネムシのきれいさに感心して満足だった。

けれど、ラストのラスト・・・池のそばで整理体操をしている時に、あのカワセミが池を横切った。おまけに往復してくれてしっかりと見る事ができた。あんなに美しいとは・・・又々感激。思わず拍手してしまった。

毎回毎回参加させていただくたびに皆さんの知識の豊富さとその深さに、ただ敬服しています。質問すると必ず親切に丁寧に教えてくださり、へえ～へえ～の連続で驚くやら感心するやら嬉しくなるやら、この観察会が本当に楽しみです。

今回は緊張あり、ショックあり、感激ありの忘れ得ぬ充実した一日でした。ありがとうございました。

黒髪山 C/F「自然工作・自然観察・名札掛け」報告

樋口善雄

7月25日快晴最高気温36℃午後に雷鳴多少あり。

参加者小学生9名（大半が奈教大附属小学生）

① 名札制作・掛け

丸木を斜め切りした木片に子供たちが樹木番号を書き、フィールドの樹木に札をかける。C/F側で準備してある樹木表と照合すれば「この木・なんの木」と判明する。午前中の作業では20枚余りの掲示ができ、残りは次の機会とする。

② 自然観察

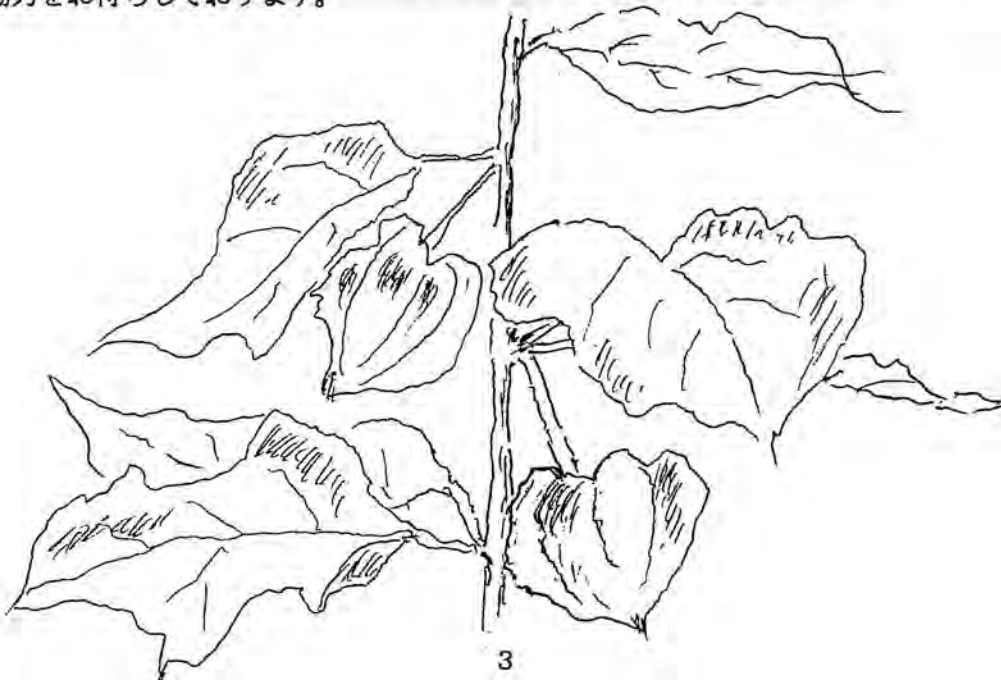
出発時に既に34℃に上昇していた気温で、さすがに子供たちもだいぶ参った様子。熱中症にかからぬよう、水分補給に気を使った。人工林の為に特に目立つ植生はないが、秋に収穫を期待できる樹木が多い。今回半袖、短パン姿の子供が多かったので、「ウルシ科」の低木、マムシの出現に留意した。

③ 自然工作

- 1) バードコール ブロックが準備されていたので組み立てるだけにした。短時間で出来上がった。今回は吊り紐を化粧結びの方法で指導されて好評だった。
- 2) セミ丸くん セミの折り方は比較的簡単だった。今回は串棒の松ヤニをスタッフで加工してやったが、子供たち自身が実物に手を加える方法を考えた方が良いのではと反省した。
- 3) 鳩笛 制作時間時間が気になり、予め切断した竹を与えることになった。今後のイベントの在り方に参考となった。

〈総括〉

このC/F運営協議会のメンバーには当会から境さんが出ておられる。「人と自然の会」からこんなことあんなことがあれば提案してください。「黒髪山キャンプ・フィールド協議会」から委嘱されるぐらいの幅広い活躍ができないかと考えています。会員諸兄からの協力をお待ちしております。



森林保護に思う

> 森林税導入に関する説明会に出席して

最近、特に森林を再評価する声が轟しい。私も、この数年シニア自然大学の仲間たちと環境問題を研鑽しながら思う事があります。

地球規模の温暖化問題から生活環境問題まで、多様な広がりを見せておりますが、全て連環の中であって、私の造語ながら、これを「環境連鎖」と呼んでおります。その中心軸には森の思想が根幹にある様に思えてなりません。

豊かな森は、「CO₂の吸収」「水の涵養」「保健休養機能」「自然環境の保全」「生物多様性」「土壌保全による災害防止」等々。森と水と生命の繋がりを見ても、それは地球を豊かに、天が与えた生命維持装置として、森の重要性をかけがえのないものとして、誰一人否定する事はないでしょう。

文明の盛衰を見ても、一例を挙げれば中近東には殆ど森がなく、文明の滅びの歴史がそれを伝えています。

日本に目を移すと、国土の森林面積 67%。世界に冠たる森林王国とは言え、その荒廃ぶりに驚きです。人工林保育に要する間伐作業の不足、乱開発による喪失、ダム論争の背景に森林破壊があり、特にスギ・ヒノキの人工林の間伐は喫緊の課題ではないかと考えます。

今回奈良県では、林業の活性化、人工林整備の助成、公益機能の増進等の施策推進を考え、森林税（一所帯年 500円）の導入を提唱し、県民の理解を広く求めることとなりました。既に、高知県・岡山県・鳥取県は導入しており、奈良県も四番目の自治体として議会上程を考えている様です。

会員各位のご理解と共に、近隣周辺の方々に、折々の機会にPRを心掛けて頂きたいと思えます。

当会においても、既に忍辱山（柳生街道入り口近く）の国有林 1.5 ha を活動の場として、スギ・ヒノキ林の間伐作業を進めております。小さな一歩ではありますが、活動の魁として運動の輪が広がりを見せ、豊かな混雑林に生まれ変わる事を夢見ながら楽しく頑張っております。百聞は一見に如かず、木を伐る快感、密生する梢から光りが林床を射る、いずれ新しい生命が着床し、野鳥が営巣し、小動物が棲息する素晴らしい環境の実現が楽しみです。一度お遊び気分でご参加をお待ちしております。

あゝ、この年で夢のまた夢かなと、感傷が過る事もありますが、次世代の諸君に期待を寄せ、シニアパワー 全開で格闘が続きます。鋸提げて一木倒す玉の汗

鋸提げて一木倒す玉の汗 04' 7.12 川井 秀夫 記

お盆の花ミソハギ

寺田正博

明治になって太陽暦が採用され明治6年1月1日（旧暦明治5年12月3日を27日短縮）以来、日本の行事は新暦中心に展開されている。ところが、盆だけはいまだに旧暦で行なわれる場合が多い。盆はサンスクリット語に基づく盂蘭盆会が起源の仏教行事だが旧暦で維持されているのは何故でしょうか

お盆の語源の盂蘭盆会は、古代サンスクリット語で「逆さ吊り」を意味するウツランバナが転訛したとされ、先祖が逆さ吊りの苦しい目にあわないように供養したのが始まりといわれている。しかし、イランで行なわれるウルヴァン（死者の靈魂）の祭りが原点ではないかとの見解も出てきている。

盆に供える花を盆花という。盆花は地方によって様々だが、全国では、ミソハギ、オミナエシ、キキョウ、それにハスが代表的である。ほかにはオトコエシ、ヒヨドリバナ、コマツナギ、ホオズキ、ナデシコ、ススキ、タケニグサ、等の草花、九州ではシキミ、クロキ、アセビなどの木本が加わる。これらの草花はちょうど盆のころに花をつける。祖先の霊に手向けるのはごく自然なことであろう。近年は栽培花を供えることが多いが、ハスを除くと野生の草花や木がほとんどだ。このことは仏教伝来以前から用いられていたことを示しているように思われる。

ミソハギは精霊花ともいわれ、昔はミソハギを束ねたものを手にして スズの箸を足にトウモロコシの毛を尾にしたキュウリの馬に向かって、水を掛けたようである。ミソハギの語源は「禊」からきたものといわれていることが多い。

植物の面からはハギの名がついているがマメ科ではなくミソハギ科である。

植物学上では三種類の異なった花をもつことで知られている。

三種類とは雌しべの長さから名付けられた、長柱花と中柱花と短柱花である。

長柱花は長い雌しべと中間の長さの短い雄しべをもち、中柱花は中間の長さの雌しべと長い雄しべと短い雄しべをもち、短柱花は短い雌しべと長い雄しべと中間の長さの雄しべをもち、

異型花柱性と呼ばれ、他にサクラソウ科など25科が知られている。自殖回避・他殖促進の機能ゆえに進化したと考えられている、



ミソハギの花のつくり

柳生街道の円成寺の庭園の池にハスと仲良く咲いている。

参考引用資料 [植物と行事] 湯浅浩史 [草木スケッチ帳] 柿原申人

[植物観察事典] 地人書館 [サクラソウの目] 鷺谷いづみ 他

ボランティア活動保険について

あつてはならない事、もし遭遇したらそれを補償するのが保険ですが、私達が加入しているボランティア保険とはどんな内容なのでしょう。以下簡単にまとめますと、

契約形態：当会（奈良・人と自然の会）が加入申込者となり、会員ひとりひとりを被保険者として締結した団体契約保険です。入会（会費納入で手続き）すると安心楽々。

掛け金：ひとり 300 円

扱い店：社会福祉法人奈良県社会福祉協議会

保険会社：日本興亜損害保険株式会社

補償期間：4月1日から翌年3月31日午後12時までの1年間で、特に始まりは、扱い店が所定の手続きと掛け金の入金を確認した翌日からとなります。

補償内容：活動中の事故によるケガや賠償保険で、学習会や会議、移動途中、日射病や熱射病の熱中症、途上にあつた交通事故も含まれます。入院1日；6,200円 通院1日；4,000円 死亡；1,161.9万円 後遺障害；1,161.9万円 賠償事故5億円。

非対象：自動車による事故は、加入者自身の障害のみが補償されますが、その他はすべて自動車保険の対象。野焼きや山焼き、チェーンソー使用も（免責事項）。頸部症候群や腰痛も非対象です。

その他：グループ全体に起因する賠償責任は支払れない。あくまで一人一人の個人である。

（平成16年7月23日 文責 大石門三）



地域情報



☆ 真夏の平城宮跡辺・・・水上池は冬と違って静か。その中をカルガモの行列。親を先頭に7、8羽の雛が行儀よく泳いでいた。一方冬にはカワウ群により木が真っ白だったハジカミ池も、夏には一羽だけ。木は緑に覆われていた。ほかアオサギ・コサギ・アマサギ・ヒバリ・ケリ etc 13種。<7/14> （勝田）

☆ 斑鳩・三室山・・・ウバユリ60本中40本が開花中。オシベの花粉は白っぽい。県の了解で一部を囲い残されたもの。地味な花だが、そばを通る人が少しずつ関心を持っているようだ。<7/20> （勝田）

行事案内



【奈良忍辱山森林整備作業】

- 〈場所〉 奈良市忍辱山国有林（東海自然歩道沿い奈良方面へ徒歩約10分）
（淀川・木津川・白砂川の源流域）
- 〈日時〉 8月18日（水） 11時30分 第9回
8月28日（土） 11時30分 第10回
（9時30分にはスタッフは現地におります）
終了は3時頃です
- 〈交通〉 奈良交通バス 【邑地中村行き】 柳生方面
JR奈良駅③番乗り場 近鉄奈良駅④番乗り場 忍辱山円成寺
8:26 8:29 9:02
10:40 10:43 11:16
- 〈持ち物〉 ヘルメット（防災用）・手袋・スパッツ・鋸・弁当・飲み物他
用具は当会にて多少は用意しております
◎作業中は長袖シャツを着用してください
- 〈連絡先〉 弓場厚次
阿部和生
寺田正博
〔未経験者には基本より指導いたします〕

【森林整備作業ミニ知識】

〔枝打ち〕

枝打ちは、材の形質向上や林の保護を目的として、枯れ枝や樹冠下部の生き枝を取り除く作業をいう。

林冠が閉鎖すると、下枝が光不足によって枯れ、時間の経過とともに腐朽し、自然に落下する。落下した枝の付け根は次第に巻き込まれる。しかし、自然落下した付け根の巻き込みには長時間かかり、材の価値を低下させるため積極的に枝打ちがおこなわれる

木の文化を築いてきた日本では木材の質への嗜好性が強く、世界的にも枝打ちの最も盛んで進んだ国である。

枝打ちの第一の目的は、無節性の高い材の生産である。無節性の高さと同時に枝打ちによる成長制御によって、年輪幅や年輪の走行角度など年輪構成の優れた材を生産することもできる。成長制御は生枝打ちによってなされる。枝打ちは間伐とともに林内の光環境を改善し森林の健全性にプラスになる。枝打ちによって林内の歩行、見通しがよくなり、林内作業の向上を図ることができる。これらは生枝打ちによる効果だが、枯枝打ちによっても効果は得られる。

枝打ちは、目的に従って、どの程度の大きさのときから、どのくらいの強さと間隔でいつまで実行していくかという管理技術と、枝をどのように落とすかという作業技術からなる。

〔参考引用資料〕 【森林の百科事典】 丸善 【森林インストラクターテキスト】

吉野・十津川村 自然観察会にご参加の皆様へ



ネイチャーなら

奈良・人と自然の会

〔8月度例会〕 **吉野・十津川村 自然観察会**
【実施要項】

7月1日、「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界文化遺産に登録され、国内の文化遺産では十件目(自然遺産を含め十二件)です。対象は「吉野・大峯」、「熊野三山」、「高野山」の山岳三霊場と「参詣道」。「参詣道」のひとつ、「大峯奥駈道」の玉置山及び玉置神社は吉野から熊野三山を結ぶ大拠点で、全国に誇れる鎮守の森です。

観察会には28名よりご参加の申込みをいただきました。ご参加の方は下記の要項でご参集いただきますようお願いいたします。

記

- 〈日時〉 : 8月23日(月)～24日(火) 〔一泊2日〕
〈集合〉 : 近鉄大和八木駅 北出口広場 午前9時(時間厳守)
〈宿泊〉 : 十津川温泉 『昴の郷・ホテル昴』 Tel: 07466-4-1111
〈交通〉 : ・西大寺 [橿原神宮前行] 8:27…大和八木8:56
・近鉄難波 [奈良行準急] 8:11…鶴橋8:15・鶴橋 [宇治山田行快急] 8:18…大和八木8:50
〈行程〉 :
8月23日(月)
大和八木～谷瀬の吊り橋～笹の滝～21世紀の森～十津川温泉昴の郷
8月24日(火)
昴の郷～玉置神社……玉置山～本宮大社～瀨峡～北山村～八木
〈費用〉 : 22,000円 (宿泊費、交通費等: 集合時に徴収いたします)
〈担当〉 寺田正博 大石門三 弓場厚次

東海自然歩道・自然観察会 8月度は夏休みにいたします。



ネイチャーなら

奈良・人と自然の会

第1.1回 東海自然歩道・自然観察会

7月の「滝坂の道」に引き続き、忍辱山円成寺から初秋の柳生街道を辿り、剣豪の里・柳生に向います。満開のセンニンソウやツリガネニンジンの群落が迎えてくれます。

- 〈コース名〉 ⑪ 柳生街道 [7km]
〈日時〉 9月21日(火) 10時30分 集合
〈集合場所〉 近鉄奈良駅 行基菩薩像前

近鉄難波 [奈良行急行] 9:41発…鶴橋9:47…西大寺10:17…近鉄奈良10:22着

* JR奈良経由の方: 奈良交通バス・JR奈良駅③番乗場 10:40発 邑地中村行に乗車可

- 〈行程〉 近鉄奈良駅(バス)忍辱山円成寺…夜支布山口神社…柳生(バス)近鉄奈良
〈担当〉 阿部和生 寺田正博 弓場厚次

【いこま柵田クラブ】

作成：いこま柵田クラブ

出口 育宏

H16. 7. 15

(教育実習認定行事) 定員10名

講座生の方はアシスタント経由お申し込みください。

いこま柵田クラブ

生駒柵田通信

奈良街道から見下ろす復活田(田圃)の周りの竹柵が完成しました。

真冬に植えたドイツ麦(花ムギ)を収穫。ドライフラワーにして、くらがり峠の茶屋で販売しています。



- ・柵田の雑木林にネイチャートレイル(自然散策路)を作ろう。
(教育実習として参加者が6名以上集まった時に、常緑樹の整理伐、玉きり、階段作りを継続して行う。)
- ・復活田(三角田)の周囲を伐採した竹でイノシシ除けの柵を作りました。街道からの景観が一段と美しい。街道から見下ろす休耕田にコスモス畑を作ります。
- ・昭和46年から3ヵ年文部省の補助金を受けて「本邦における柵田地域の地理学的研究」として調査した中に生駒市西畑地区の柵田の水利慣行(人知を尽くした用水利用)が報告されています。
「日本の柵田 保全への取組み」中島峰広著(早稲田大学教授) 古今書院 一読を!
- ・いこま柵田クラブのシンボル手ぬぐいが出来ました。(1本 500円)

◆8月活動日 第58回 8/1(日) 第59回 8/9(月) 第60回 8/23(月) 第61回 8/29(日)

◆9月活動日 第62回 9/5(日) 第63回 9/13(月) 第64回 9/19(日) 第65回 9/27(月)

(集合時間をセブンイレブン前 9:00としていますが9:30発ちありますので無理な方は申し出てください)

◆集合場所 近鉄生駒駅下車(鶴橋駅より快速15分) 南口側ケーブル駅 西隣りセブンイレブン前

◆集合時間 9時00分 現地まで車で移動(15分)

◆持ち物 弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴、草刈り鎌(有る人)

お願い：生駒駅からは車で移動します。参加者は事前にtelまたはfaxで下記までご連絡願います。

事務局 大寺道代



2004年7月度 定例幹事会報告

1. 日時 : 平成16年7月2日(金) pm 5:30~8:30
2. 場所 : 奈良県女性センター
3. 司会 : 大石 書記:三木
4. 出席者 : 川井、小山、樋口、弓場、大寺、勝田、阿部、大石、境、小田、三木 11名
(欠席:寺田、豊島、古川)

5. 議事

【報告事項】

- ① 会員動向 81名(入金済) 会計報告 残金 207,282円
- ② NPO法人シニア自然大学 第2回通常総会 報告
正会員 934名(講座生含まず) 出席 58名 委任 516名
15年度事業報告、15年度収支報告、16年度事業計画が承認された。
16年度スローガン「大胆に活動と組織を見直し、大きく創造しよう」
- ③ 6月度例会「元山上・千光寺と湿地帯の自然観察会」 参加者18名 生駒に残る自然を
- ④ 東海自然歩道・自然観察会 第9回「山の辺の道Ⅰ」 参加者18名 アリジゴク(昆虫)観察
- ⑤ なら・忍辱山森林整備作業 6月度は2回実施(9日、19日) 両日とも晴れで各5名参加。
7月度は7日、31日を予定。
- ⑥ 「いこま棚田クラブ」
6月度は予定通り4回実施 7月より講座生の教育実習認定行事に決定
作業多様化で参加者増が課題 地域銀行主催コンペでトップ当選
- ⑦ 森林税導入に関する説明会 報告
奈良県が「奈良の元気な森林を作るために」森林税の導入を検討
個人 500円/年 法人 千円~4万円/年 早くて平成18年度実施予定
- ⑧ その他 黒髪山C/F運営協議会より 奈良・人と自然の会への謝礼はスタッフ人数に
関わらず定額1万円としたい旨申し出がありました

【討議事項】

- ① 7月度行事 スタッフ要員について 7月度例会(7/17)6名 黒髪山C/F(7/25)9名
県民フォーラム(7/31)9名
- ② 「企画」に関して自由討議 行事:例会 その他(東海自然歩道、忍辱山森林整備作業、黒髪山
社会貢献事業 協力活動(いこま棚田クラブ)
生駒市との連携を模索 例会での社会貢献事業があってもよい 野鳥観察は各行事の中に
- ③ その他 吉野・十津川村 自然観察会への申し込みは24名/予定25名

原稿待っています



- ★ 会員の皆さんの身近な自然や生き物のようす、環境について気がついたことなど・・・
- ★ 短報 (はがきで1, 2行位でも) からA4サイズ位まで・・・ 手書き歓迎!!
- ★ カットや写真 (印刷で鮮明度が落ちますが) などもお送りください・・・
- ★ 毎月20日を締め切りとしています・・・
- ★ 送り先は下記「編集担当者」まで。できればEメールでお願いします・・・

編集担当 : 勝田 均
Tel & Fax

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫